
技術研究報告の発刊にあたり



執行役員 技術本部長
永田 尚人

熊谷組技術研究報告第77号の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

熊谷組は、2018年1月に創業120年、2018年3月につくば技術研究所開設30周年を迎えました。これはひとえに、お客様をはじめ関係各位の温かいご支援とご愛顧の賜物であり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

当社は、創業時よりお客様からの信用を高め相互に共存共栄をはかることを常に思い描き、社会やお客様のニーズに対して常にチャレンジ精神をもって各種の難関な事業に取り組んでまいりました。つくばへの技術研究所の移転開設以来、超高層建築、マルチフェイスシールド工法、音響技術、超高強度コンクリートをはじめとする様々な分野での技術開発を行ってまいりました。

北海道胆振東部地震、平成30年7月豪雨災害など、今年度も大規模自然災害が発生しております。大規模自然災害に対して脆弱な我が国における「防災・減災による国民の安心・安全の確保」をはじめとして、「i-Constructionによる生産性の向上や建設生産革新」、「国連による持続可能な開発目標（SDGs）の推進」など、現在我々を取り巻く社会環境は大きく変化してきており、解決すべき課題は広範かつ多岐にわたってきております。

これらの解決すべき課題に対して、新たな価値を提供することが、我々がなすべき使命であると思われま

今回お届けする技術研究報告では、芝浦工業大学の油田信一教授による「施工や建機の自動化・ロボット化：ロボットシステムの開発はユースケース指向で」と題する巻頭言を頂いておりますとともに、特集としてロボットの報文を掲載しております。研究報告研究分野では、橋梁用プレキャストPC床版の開発や、磁石走行式ロボットを活用した橋梁点検システムの開発など、9編の研究論文と研究報告について紹介しております。施工報告では、土木分野4編、建築分野1編をご紹介しますとともに、今年度も、土木技術発表会および建築技術発表会からそれぞれ上位3編ずつの報文を掲載しています。

皆様におかれましては、この熊谷組技術研究報告をご高覧いただき、ご指導ご助言を賜りますようお願い申し上げます。
